

一般質問

小学校統合

問 統合後の大田口小学校・大豊小学校の利活用は

答 地域住民と協議し有効に活用



上池如夫 議員

6月議会定例会で教育長は、休校校舎の利活用を地域とともに取り組んでいくとの答弁であったが。



大豊小学校

一般質問

問 休校後も放課後子ども教室は運営するのか

答 それぞれの学校で運営



吉松英喜 教育長

地域住民と協議し有効に活用したいと説明した。まだ休校となっていないので、具体的な利活用の協議はしていない。

上池如夫議員

休校後も放課後子ども教室を運営すると保護者から聞いたが。

吉松英喜教育長

放課後子ども教室の実

施主体は教育委員会ではなく、保護者などが運営をしている。統合の説明段階で放課後子ども教室を引き続き現状のように運営するよう話をしている。

一般質問

問 大豊小学校の前身の廃校の記念誌は

答 記念誌は作成されていない

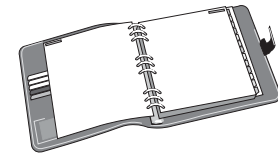
上池如夫議員

大豊小学校の実行委員会で休校に伴い記念誌を作成中であるが、旧大砂子小学校、旧岩原小学校、旧西豊永小学校、旧佐賀山分校の資料がない。この対応は。

吉松英喜教育長

調査をしたが記念誌は

発行されていないようである。教育要覧は現存するので参考としてほしい。



一般質問

大田口小学校跡地の利用計画は

問 学校の跡地活用について企業などから要望は来ているか

答 具体的な話はない



今井安博 議員

学校の跡地を活用したいという企業などから要望は来ているか。

岩崎憲郎町長

まだ休校となっていないことから、具体的な話はない。

一般質問

集落の伝統芸能継承に支援を

問 町は民俗文化財を後世代に継承するためソフト面に対する支援を

答 先達の叡智によって築き上げられ守られた民俗文化を継承する責務がある

今井安博議員

旧の東・西豊永村には国指定、無形民俗文化財が多く存在する。町は民俗文化財を後世代に継承するためソフト面に対する支援を。

吉松英喜教育長

先達の叡智によって築き上げられ守られた民俗文化財を継承する責務がある。国から指定を受けている無形民俗文化財は、国からの補助金で衣



永瀬神楽（国指定・無形民俗文化財）

装の修繕等を行ってきた。また太鼓など装具についても多額の経費を

必要とする場合は補助事業等で整備してきた。

一般質問

黒石ふれあい住宅の改修を

問 風呂場の改修を

答 シャワー室を設置する

今井安博議員

総合ふれあいセンターの風呂が使用できなくなり、入居者は不安がつており、既存の風呂場の改

修を。

岩崎憲郎町長

住宅の一角にシャワー室を設置する。

平成24年度各種会計歳入歳出決算認定（認定・全員）

平成24年度の一般会計、特別会計歳入歳出決算書、付属書類等及び基金の運用状況を示す書類等が、法令に準拠して処理されているか、予算執行が適正であるかどうかについて、関係諸帳簿等の照合を行うとともに、必要に応じて関係職員の説明を求める方法により審査した結果、いずれも正確で適正に処理されているものと認めたとところである。

前年度に対して平成24年度の一般会計及び特別会計決算は、一般会計、簡易水道事業特別会計及び後期高齢者特別会計は増額決算となったが、国民健康保険特別会計及び介護保険特別会計については、減額決算となっている。しかし、国民健康保険特別会計においては、収支の均衡が得られず繰入金により対応している。超高齢化が進む中で、国民健康保険加入者の一人当たりの負担額は401,876円で、前年度379,378円と比べ22,498円、5.9%の増となっており、依然として高い状況にあるため、今後とも医療費の軽減対策が課題となっている。

一般会計の歳入決算をみると、自主財源の根幹をなす町税は前年度と比べ町民税、固定資産税及び軽自動車税が減少し、全体として前年度に比べ12,054,272円、3.3ポイント減となっているが、南国・香南・香美租税債権管理機構へ町税等の滞納整理に関する事務を委託したことにより、その実績は顕著に現れており評価するものである。

町有財産の管理については、町民の共有財産であることを十分認識し、遊休財産の有効活用や処分についても検討されたい。

今後の経済情勢等の影響や景気の動向を踏まえると、本町を取り巻く歳入環境は今後とも依然として厳しく、特に歳入の根幹をなす町税収入においては多くを見込むことは困難である。また、歳出面では少子高齢化の一層の進展、雇用情勢の悪化に伴う扶助費等の増加や安全・安心のための基盤整備等への対処など、多くの課題を抱えている。

このような中であって、本町が将来に向けて持続的に発展していくためには、歳入に見合った支出を心がけ、健全で安定した行政運営を基本に、最小の経費で最大の効果を上げることの一層留意しなければならない。

財政分析等からみて総括すると、起債残高も減少に転じ、町の貯金である減債基金も少しずつではあるが増え始めた。

今後においては、地方債残高の推移等に十分留意され、財政構造の弾力性を確保し、健全な財政運営に努められたい。加えて、ゆとりすとカントリーおおとの計画に基づき、本町の最大の資源である森林を活用した施策を展開し、町政の更なる進展と町民福祉の向上増進に寄与されるよう一層の尽力を望むものである。



決算審査報告